

東京農業大学



湘南稲桜会だより

発行 東京農業大学 校友会神奈川県支部 湘南稲桜会 発行責任者 松居靖雄
事務局 〒238-0032 横須賀市平作 4-1-9 清水圭一方 TEL 046-854-0044

〈湘南稲桜会研修会に参加して〉

中山倫子 (中山監事 妻)

去る2016年10月22日(土)湘南稲桜会研修会(鎌倉散策の会)に参加しました。今回は私の大好きな鎌倉で、ガイドさんお勧めの穴場のお寺を巡ると聞き、家族ですが初めて参加させていただきました。散策ルート以下の通りです。北鎌倉駅→長寿寺→建長寺→円応寺→鶴岡八幡宮→鎌倉駅(懇親会)



1.北鎌倉駅での集合

初見の方ばかりなのでちょっと不安に思いながら足を運びました。しかし、可愛い旗持ちさん(松居さんのお嬢様!)の持つ農大旗のおかげですんなり合流することができました。そして、農大の皆さんの和やかな雰囲気ですぐになじむことができました。

2.季節限定公開の名園のある長寿寺へ

今回の研修会で、私が一番行きたかったのは長寿寺です。春と秋の週末の限定期間のみしか拝観できない知る人ぞ知るお寺です。3名のボランティアガイドさんの説明を聞きながら、園内を散策しました。ガイドさんの話を聞くと、お寺の良さ



がより身近に感じられました。園内は見事な苔庭



が広がっており、その上にまだ青いもみじがたわわに枝をゆらしていました。もみじが紅葉したら、どれほど見事だろうか・・・とワクワクしながら足を進めました。観音堂に上がった上から見る苔庭も趣があり、鎌倉に居ながらもっと遠くに居るような、そんな気分を味わうことが出来ました。



3.「鎌倉五山第一位」建長寺へ



次は私も何度も訪れたことのある建長寺へ向かいました。まずは壮大な作りの山門に目を奪わ

れました。ガイドさんの解説で何度も見た山門をいつもよりも深く見る事が出来ました。ここでのメインは回春院。山門から奥にしばらく歩いた大覚池のほとりに建っていました。参拝客は私たちだけでひっそりとしています。その中も散策しながら、農大の皆さんは斜面に生えた植物について大いに議論していました。

4.別名閻魔堂 円応寺へ

仏殿には運慶作と言われる閻魔大魔王をはじめ、十王像や三途の川で死者の着物を奪う奪衣婆の木造が並んでいます。閻魔大魔王と聞くと、人間を苦しめる怖い王というイメージがあります。しかし、真の閻魔大魔王は人間の罪を自ら受けて苦悶していると解説を聞き、驚きました。ここでもガイドさんの話はとても興味深いものでした。

この後、鶴岡八幡宮→段葛→鎌倉駅と散策し、



とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。(後日談ですが、長寿寺に11月末に家族で拝観しました！)ボランティアガイドさん、そして農大の皆様、楽しい企画をありがとうございました。今後の企画も楽しみにしております。

－会員の活動紹介－ <根を張る>

中村文香 (H28農学科)

わたしは、東京農業大学農学部農学科に平成24年4月に入学し、平成28年3月に卒業しました。今回、大学生活でのことを書いてほしいと依頼されましたので、大学での4年間を振り返りながら思ったこと、感じたことなどをまとめてみました。

自宅のある横須賀から本厚木まで毎日往復4

時間かけて通いました。朝は人ごみを避けるのと教室の一番前の席を確保するために、4時起床の毎日です。通常講義の他に教職課程(高校農業)も受講していたため、帰宅時間は11時を過ぎることもありましたが、それでも、自分の意志で行こうと決めたので、苦ではありませんでした。

入学してすぐに実感したのは講義のことです。高校よりもペースが早いのに加えて内容も難しく、かといって疑問に思ったことを、大勢の中で挙手をして質問をする勇気もなかったために、分からないことだらけで何度も挫折しそうでした。けれども、学ぶことや調べることはどれも面白かったので、4年間励むことができました。

友人にも恵まれました。理解が遅いことから講義に追いつけず、どこをやっているのか分からなくなり、教科書や配布資料から探そうと焦るわたしに教えてくれるだけでなく、メモが追いつかなかったところはお昼を食べながら見せてくれました。学習面では頼りっぱなしでしたが、それを嫌な顔をせず何度も助けてくれる彼女たちには、いくら感謝しても足りない気持ちです。

研究室は、選別に選んで作物学研究室に決めました。お米を育ててみたかったのが一番でしたが、高校時代に学んだ野菜も育てたくて、両方を扱うゼミということが決め手でした。人見知りのわたしは、始めのうちは先輩方に苦手意識がありました。けれども研究を手伝ううちに苦手意識もなくなっていきました。はじめての飲み会では、お酒が苦手なわたしに酔いにくくなる飲み方を教えてくださいました。その飲み方は今でも役に立っています。他にも、文化祭では仲間と協力して展示制作を行ったことはとてもよい経験になりました。

これまでわたしはいろいろな人に助けられ、支えてもらいました。今でもまだまだ、周りに助けてもらおう毎日ですが、いずれはわたしが助け、支えたいと思っています。現在、わたしは母校で働いています。生徒に教え、支えていく立場ですが、まだまだ学ぶことばかりです。これからも学び続け、作物が土壌の水や栄養分を吸収するように、今の場所に根を深く、大きく張り成長していこうと思います。そしていつか、これがわたしだ！と胸を張れるような花を咲かせたいと思っています。

<定年後・地域にデビュー>

梅澤 稔 (S33 農学科)

たよりの編集委員から原稿を依頼されましたので地元で関わっていることを書かせてもらいます。長年勤めた職場も定年となり家にいるようになった頃、私の住む町内が1,000世帯を超え運営が難しいので町内を分割するということになり、平成8年に600世帯と400世帯に分離されました。そのとき初代会長より町内役員として協力してくれないかとの申し入れがあり受けることにし現在に至っています。その当時これからの町内運営について話し合われ町内が纏っていくには先ず防犯活動から始めようということになりました。早速、大船警察署の生活安全課に伺い事情を説明し理解を得ることが出来、助言と指導の下で先ず毎月1回防犯パトロールを行うこととし、現在まで役員、老人会、子供会が毎月第2土曜日の午後行っており、その結果、神奈川県知事、県警察本部長から表彰されました。その他、地域の小学校から子供の見守り活動を地域の方にお願いたいと協力依頼がありました。そこで町内として協力すると云うことで始め今年で15年目になりますが、月曜日から金曜日の朝7時台～8時台までの約1時間を私も今でも行っています。これまでに特に嬉しかったことは小学校の卒業式後に卒業生が花束を持って来て「長い間見守りありがとうございました、無事に卒業することが出来ました」とのお礼の言葉をいただいたことです。



地域活動以外に神社の役員として鎌倉八幡宮の役員も受けることになり、種々の会議や活動に参加してきました。平成22年3月に八幡宮のシンボルである樹齢800年の大イチョウが風台風の被害で倒れ全国の方々のご支援を受けこの復元に取り組むことになり、我が母校東京農業大学の造園樹木学の濱野周泰教授が復元の指導をすることになりました。残った元木から挿木とヒコバエの育成等で将来の復元に向けて取り組んでおります。又、由比ヶ浜方面から八幡宮に通ずる参道の「段葛」の改修も行うこととなり、この事業も同じく濱野先生が指導することとなり、その時の話で昔造られたとき地下に瓦礫等が埋められ植えていた桜並木の生育に無理があったことが解り改修の際はこれを取り去り良質土に替えて植栽する

とのことでした。樹は皆さんの意見でソメイヨシノに決まり工事は進み平成28年3月末に完成して見事な出来栄です、桜の季節にはぜひ来て見ていただきたいと思えます。大イチョウの復元、「段葛」の改修計画に母校が大きく関わっていることに卒業生として大いに誇りを感じます。神社の研修旅行では、日光東照宮の奥殿見学、福岡の大宰府天満宮の見学等在職中はできなかったことを体験でき、地元との関わりを楽しんでいます。



— 寄稿 —

<多くの農大の同窓会生と知り合って>

關 裕充(関副会長 夫)

私は40年前に農大卒の妻と結婚し、知らないうちに多くの同窓会生と知り合うこととなった。まだ独身の頃、農大中心に日本薬学会総会が開催され、その時の農大の印象は都区内にありながら、どこの駅からも離れていて何と遠い不便な大学だろうと感じた。ただ、何となく田舎的な雰囲気の魅力を感じた。



結婚後、農大の牧歌的な雰囲気が好きで毎年妻と収穫祭に行くことになった。妻が行けない時にはすでに他界している父で行ったこともある。留学のため家族で米国暮らしをしていた時以外、私は収穫祭皆勤であると自負している。

収穫祭で初めて妻の卒論の植物学研究室を訪れた時、助教授であられた故中村武久先生から妻に「おばあちゃんは元気？」という言葉が掛けられ、私は「アレ？」と思った。どうして大学の先生がおばあちゃんのことまで気に掛けていられるのだろうかという疑問であった。国立の総合大学で

は先生が学生の家族のことまで気にかけているなどということは考えられなかった。また収穫祭時に子供を、ローバークルー部のところに連れていくと親切な学生さんたちが人形劇や工作で遊んでくれ、我々は安心して収穫祭を楽しむことができた。なんと暖かい学校か。

妻の研究室の先輩(このことは後で偶然分かったのであるが)で近所に住んでいた故鈴木士郎さんの紹介で妻が無理やりに入れられたのが湘南稲桜会である。会の役員さんにご苦労が多いと思うが、私は傍観者として楽しませてもらっている。去年は予算の都合で中止になったが恒例のバス旅行(名目は研修会)がある。私は農大伊勢原農場、練馬区「風の学校」、深谷市「愛鶏園」、ヒゲタ醤油工場等の見学に参加させてもらったが、昼食にはビール、帰りのバスの中では酒盛りと、何でこれが研修会? また、毎年夏に有志が集まり、逗子の鈴木久弥さんのお宅で開催する納涼会ではA5ランクの葉山牛まで現れ、楽しい時間を過ごさせてもらっている。

妻の植物学研究室の同級生とも仲良くさせてもらっており、毎年収穫祭ではアルコールとともに歓談をし、それ以外ではスズムシの交換をしたり、花を戴いたり親密にさせてもらっている。植物学教室OBの旅行にも誘われるが部外者が参加して却って気を遣わしてもらって丁重にお断りしている。

以上、とりとめもなく書かしてもらったが、農大は何と暖かく心の広い大学であるか。この心が全学、在校生、卒業生、教職員等に染みわたっているように思われる。農大万歳!

なお、私はあくまでも傍観者として楽しませてもらいたいのに、先日、本原稿の依頼が来た。妻の顔を立てなければとやむなく重い腰を上げたが、これが最後であって欲しい。

<雑感>

鈴木由美(H1 造園学科)

3月に入り、卒業や新生活がスタートする季節になりました。考えれば、自分が農大に入学したのも、もう30年余り前になってしまいました。

大学の入学式の日、学科の先生が「この教室にいる君達は、一生の友となるのだよ」とおっしゃいました



た。その時は、その言葉の意味があまり良くわかっていませんでした。

卒業して10数年間、同期生とは、全く連絡を取らなかったり、仲の良い者でも、年一回会えれば良いとなっていました。

そんな状況にもかかわらず、農大特有の職業に直結した学科であったこともあるのかもしれませんが、突然、仕事の話で連絡が有ったり、何年かぶりの同期会で会ったりしても、不思議なことに学生の時のように話が進んでいくのでした。「こう言うことなのか」入学式の先生という言葉の意味が最近、徐々にわかってきたように思います。

近頃は、同期生も家業や勤め先で責任ある立場になっていたり、子育ても終盤になって生活環境に余裕が出てきたせいか、顔を会わせられるようになってきました。(全国に同期生が居ますので、ツアーを組んで会いに行ったりもしています。)

先生のお言葉のように、これからも、長くお付き合いしていきたいと思います。

〈会員からのたより〉

研修会の出欠席回答はがきに寄せられた会員のたよりをお伝えします。 敬称略(事務局)

(横須賀地区)

- ・原島 純憲 (S26 学農)
今回は徒歩による移動の由、徒歩による移動と居酒屋云々には弱いので、残念ながら欠席します。諸兄に宜しく。
- ・石橋 順作 (S34 学林)
腰痛のため通院しリハビリをしています。
- ・寺井 俊介 (S35 学化)
毎日元気に過ごしております。
- ・江間 三恵子 (S39 学栄)
所用のため欠席します。
- ・廣濱 徹 (S41 学造)
本年もよろしく申し上げます。
- ・池田 厚 (S48 学造)
当日私用があり参加できません。申し訳ありません。
- ・菊本 充 (S58 学経)
福岡での単身赴任生活も早一年半となりました。
- ・湖水 康史 (S62 学農)
9月はずっと雨、雨、雨で農作業の進まない年でした。10月に入ってやっと天気が続くようになって、研修会までには、通常のペース

に戻りそうです。

- ・中山 大海 (H3 学農)
9月の長雨の後は急に秋らしくなっていました。此処、三浦の農業技術センターでも予定通り種まきが出来ず苦勞しています。
- ・中村 文香 (H28 農農)
とても楽しそうな企画ですが、初めての参加は知っている方と一緒にいいので今回は欠席させてください。またの企画を楽しみにしています。

(鎌倉地区)

- ・梅澤 稔 (S33 学農)
今は自由の身で気楽に過ごして健康です。
- ・嶋村 勝美 (S39 学化)
今年の9月は雨の日が多くて、幼稚園の行事も、小さな家庭菜園の仕事もままならず、気をもみましたが焦らず自然に合わせています。
- ・白鳥 武秀 (S39 農化)
お世話になります。
- ・渡邊 文雄 (S59 学工)
いつもご案内頂き有難うございます。当日、すでに予定が入っており欠席させていただきます。盛会を祈念致します。
- ・磯谷 ゆり子 (S48 学栄)
いつもお世話様です。残念ですが他の用事と重なってしまい欠席させていただきます。
- ・大川 晶子 (S52 学化)
仕事の日と重なり欠席させていただきます。
- ・松居 浩一 (H10 学工)
娘と共に参加させてください。

(逗子地区)

- ・関 恵梨子 (S50 学栄)
ボランティア協議会の副会長ですので、10月は高齢者センターのお祭り、せせらぎ祭り、市民祭りと忙しいです。また、地域の久木体育祭の商品係りとして、準備に忙しいです。
- ・鈴木 由美 (H1 学造)
先日のBBQ懇親会では、お世話になりました。今回の研修会は、先に予定が入っておりましたので、欠席させていただきます。

(三浦地区)

- ・池田 尚久 (S40 学農)
北鎌倉→鎌倉歩きということで参加させて頂

きたいのですが……。避難支援活動協力員養成講座受講のため参加できないこと、ご容赦ください。

・川名 昌雄(S48 学農)

今回の企画は大変良いと思います。みなさん参加しやすいのではないのでしょうか。私は土曜日は部活指導があるため、欠席させていただきます。楽しく盛会でありますように。

<新会員の加入勧誘のお願い>

日ごろより会の運営に対し、ご支援・ご協力をいただき有難うございます。

校友会活動の活性化を図るため会員の加入促進に取り組んでおりますが新規加入者がありません。将来的に湘南稲桜会を維持発展してゆくには新規会員の加入が急務であります。このためには皆様方の力が必要です、お知り合いの方に一人でも結構ですので声をかけて加入をすすめて下さい。校友の絆と伝統ある湘南稲桜会の無限の発展のため是非皆さま方をお願いいたします。入会案内のチラシが事務局にありますので必要な方はお知らせ下さい。(事務局)

<会費納入のお願い>

毎度のお願いになりますが、年会費 3,000 円の会費の納入をお願いいたします。年 2 回の会報「湘南稲桜会だより」の刊行、研修会の開催、総会での講演会、箱根駅伝応援等を皆様方からの会費や寄付によって行っておりますが厳しい状況になりつつあります、今後も活発な活動ができますよう引き続きお願いいたします。(事務局)

<編集後記>

3 月に入り木の芽も膨らみ春めいてきました。湘南稲桜会だより 37 号をお届けします。「横綱の名に恥じぬよう精進致します」日本出身では三代目若乃花以来 19 年ぶりの第 72 代横綱稀勢の里の誕生である。15 歳から土俵でメシを食ってきた「中卒たたき上げ」過去 5 度の綱取りに失敗し、ようやく大きな花が開き日本中が沸きあがった。初場所千秋楽、白鵬との結びの一番土俵際まで寄られたが必死にこらえ逆転のすくい投げで 14 勝、5 秒 9 の勝負で横綱を確実にした。館内は座布団が無い歓声と拍手、期待と祝福の大声が響きわ

たった。

筆者は「牛久市の凱旋パレード』に行ってきたが、牛久市の人口 8 万 5 千人のうち 5 万人ものファンが詰めかけ郷土の英雄をたたえた。牛久市はうなぎと大仏の町ぐらいしか知名度は低かったが一躍全国区となり横綱とはすごいものだなどと改めて思った。母校農大出身力士の正代は春場所の番付では小結に陥落し、小柳は初場所での一つの勝越しであったが新入幕は見送られた。両力士の活躍を期待したい。(M. K)

平成 29 年度定期総会 (第 21 回)のお知らせ

平成 29 年度定期総会を下記のとおり開催いたします。

会員の皆様のご出席をいただきたくご案内申し上げます。

記

1. 日時 平成 29 年 5 月 14 日(日)
午後 2 時～6 時

2. 会場 ホテルハーバー横須賀
横須賀市汐入町 2-7
電話 046-822-0001

3. 議事

(1) 平成 28 年度事業報告ならびに収支決算報告について

(2) 平成 29 年度事業計画ならびに収支予算案について

(3) 予算流用規定案について

(4) その他

4. 記念講演

演題 「おいしい野菜をそだてたい」

東京農業大学農学部農学科

野口有理紗助教

5. 懇親会 参加費 7,000 円

準備の都合がありますので、お手数ですが出欠のご都合を同封のハガキにて 5 月 4 日までにお知らせください。

(詳細は別途ご案内いたします。)